

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

千葉県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	セミナー開催	高校・短大・大学	3回開催 参加300人
2	小・中学生(保護者同伴)対象のセンター施設見学及び献血勉強会	小・中学生(保護者)	年1回開催

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施および献血協力企業、会場周辺企業など	新規献血協力企業・団体の確保及び、修正により584社
2	臨時献血要請可能な企業等	通常献血に加え臨時に献血依頼、企業等	献血要請可能な企業等10社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数 延べ480人
2	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数 延べ20,000人
3	メールによる情報配信	複数回献血クラブ	年4回以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作(400mL献血のお願いです)	全血献血希望者	全血献血会場に設置
2	はがきによる依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
3	実施場所(企業・団体)の年間回数、実施時期などを精査	年3回以上の実施場所(企業・団体)	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の策定する
4	高校献血における400mL献血受入	400mL受入実施校数15校	400mL受入実施校数を20校に

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	成分献血ネットワークの構築	市町村献血推進協議会	2カ所の献血推進協議会

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

東京都赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる複数回献血依頼	大学献血での400mL献血可能者	(下記③複数回献血者確保対策に含まれる)
2	ラクロス献血協力者に対する複数回依頼	短大・大学生	800人対象
3	施設見学の実施	大学、専門学校生	136校の内10校実施を目標
4	大学、短大献血の増回・増班	大学、短期大学生	年1回24校を年2回、年2回54校を年3回目標、(参考年3回以上18校)

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血団体の確保(ライオンズクラブとの連携等により)	献血未実施団体	50団体
2	新規協力協力企業の確保	献血会場周辺の新規協力企業	50団体
3	掘り起こし、増回企業・団体の確保(ライオンズクラブとの連携等により)	献血中断、年1回実施の企業・団体	50団体

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	Eメールによる献血依頼	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)1,000人以上
2	はがきによる献血依頼	登録者及び依頼対象者	応諾者数(実協力者数)6,000人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数の増加	年1回実施場所(企業・団体)	応諾者数(実協力者数)1,000人以上
4	冬季400mL献血リピーターキャンペーン	春、夏季に新規400mL献血を行った献血者	2,000人

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	400mL献血説明用パンフレット作成	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	はがきによる複数回献血の依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
3	17歳の献血者への啓発	17歳の献血者	17歳の献血者が約7,000人のうち男性の献血者2,500人対象
4	高校献血における400mL献血推進	400mL献血可能者を対象とした卒業献血等	3校
5	新規400mL献血者確保キャンペーン	新規400mL献血者	3,000人

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

神奈川県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	大学献血の推進	大学生	8,000人以上
2	青少年体験事業(高校生ボランティアスクール)	高校生(夏休み)	60人以上
3	はがきによる献血依頼	18~29歳の全血登録者	協力者数1,700人以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施及び献血会場周辺企業	50社新規登録

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	新規登録者	応諾者数(実協力者数)850人以上
2	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数(実協力者数)10,000人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数の増加	年1回実施場所(企業・団体)	12カ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	実施場所(企業・団体)の年間回数、実施時期等の精査	年3回以上実施場所(企業・団体)	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の策定
3	はがきによる依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
4	400mLキャンペーンの実施	400mL献血基準を満たした全血献血者	年4回実施

⑤その他の具体的対策(①~④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	平日の献血者確保(ポイントカードの適用)	成分献血者	平日の平均受入人数を5人増加する。
2	はがきによる平日献血依頼	既血小板成分献血者	型別の受注数により随時発送する。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

新潟県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血バスの配車	専門学校・大学(合計 45校)	45校で90回実施 協力者4,500人以上
2	高校における卒業献血の実施	高校	5校
3	講演会開催	専門学校・大学・高校	7校
4	献血ルーム体験ツアー	専門学校・大学・高校	5校

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施及び献血会場周辺企業	50社
2	緊急要請可能な企業・団体の確保	献血バス会場の企業・団体及び献血ルーム周辺の企業	30社
3	新聞に献血お礼広告の掲載	献血協力事業所及び団体	年2回実施

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数200人以上
2	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数5,000人以上
3	献血バス会場献血者の献血ルームへの誘導	年1回実施の献血バス会場の献血者	応諾者数300人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる依頼	400mL献血可能者	応諾者数5,000人以上
2	実施場所の(企業・団体)の年間回数、実施時期等の精査	年2回以上の実施場所	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の作成
3	高校における卒業献血の実施	400mL献血可能者	5校

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血ルームでの登録者確保	血小板献血者	800人以上
2	献血ルームのチラシ配布	献血バス会場の献血者	献血バス会場で配布
3	献血ルームのチラシ配布	ルームに近郊した世帯	自治体に依頼して配布

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

富山県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL献血可能者	年間協力者数15,000人
2	セミナー開催	専門学校、短大、大学	5回開催
3	血液センター見学会	小学生、保護者	50名参加
4	学生献血ボランティアと連携したイベントの実施(サマー献血、クリスマス献血)	18～22歳の若者	500名の献血協力者を確保

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規、休眠献血協力団体の拡大	献血会場周辺事業所	10社増加
2	成分献血協力団体の拡大	少人数の企業及び団体	20社増加

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	複数回献血クラブ員の確保	400mL献血、血小板献血可能者	会員数300名目標
2	はがきによる献血依頼	前回献血から一定期間の未献血者	応諾者数1,500人確保
3	献血実施回数の増加	年1回実施事業所	5団体増加

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	高校献血における400mL献血の推進	400mL献血可能者	3校増加
2	400mL献血推進研修会	行政、献血推進団体等	5回開催
3	200mL献血受入会場の検討	各街頭献血会場	2会場実施

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	平日の献血者確保(ポイント制度の見直し、イベント開催)	全献血者	一日平均40人を確保
2	次回予約の推進	血小板成分献血者	1人/日を目標に350人を確保。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

石川県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	中学生対象の献血ポスターを募集	県内の中学生	300人
2	高等学校における献血指導者研修会の開催	高等学校の献血指導者	県内67校全校
3	大学の学園祭時に普及啓発を実施	大学生	1回80人確保
4	若年層を対象とした血液センター見学会の実施	小・中・高校生	6回開催300人参加

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血協力企業・団体への事前渉外の強化	献血協力企業及び団体	50社
2	新規協賛企業の開拓	献血未実施企業・休眠企業	新規に10~20社確保

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血者にチラシを配布し募集を強化する	献血協力者	10,000部作成
2	健康相談事業の実施	複数回献血クラブ会員	年間24回実施

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	400mL献血協力者にハガキによる要請	前回400mL献血協力者	協力者数30,500人以上
2	推進用のチラシの作成	400mL献血が可能な献血者	10,000部配布
3	高校献血を卒業献血へ移行	文化祭に実施している6校	卒業献血に願う

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

茨城県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	セミナー等の開催	高校・短大・大学生	3回～5回開催
2	若年層キャンペーンの実施	高校・短大・大学生	2～3回実施 参加者500名 献血者150名

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規事業所の開拓	1回/30名以上の協力を得られる新規事業所	10～20社
2	休眠状態の事業所の再開拓	実施しなくなった事業所の見直し	10～20社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブの登録者	応諾者数1,200人
2	はがきによる献血依頼	献血可能者	応諾率 20%
3	事業所等の年間回数増加	年1～2回実施の事業所	5～10ヶ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	受付及び検査時の400mL推進の強化	400mL可能者で200mL希望者	全体月/200名
2	はがきによる献血依頼	400mL献血可能者	上記、複数回献血者確保対策に含む
3	高校献血の見直し	休眠状態の事業所と組み合わせる	10ヶ所

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	各献血ルームで平日の予約を推進する	血小板献血者	月・火で6名を確保する。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

栃木県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	高校献血実施(体験)	16~18歳の高校生	協力者 8,000人以上
2	はがきによる献血依頼	18~29歳の400mL献血可能者	協力者数30,000人以上
3	大学・短大・専門学校献血実施	18~22歳の学生	協力者6,000人以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施及び献血会場周辺の企業	50社新規登録
2	緊急要請可能な団体の確保	年1回実施している団体・献血未実施組織型団体等	動員協力団体5社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)600人以上
2	はがきによる献血依頼	前回献血から一定期間未献血者	応諾者数(実協力者数)500人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数増加	年1回実施場所及び街頭献血	20ヶ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
2	高校献血における400mL献血者増加	400mL献血可能者(400mL実施校を年度末に実施)	前年度高校400率15.6%を1.5%以上UP
3	400mL献血推進キャンペーン	400mL献血可能者	目標数(70%)

⑤その他の具体的対策(①~④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	次回の予約推進(固定施設)	血小板成分献血者	平日2人/日を目標に年間500人を確保する。
2	午前中及び平日の献血者確保ポイントキャンペーン(適用等)	成分献血者	午前中及び平日の固定施設の献血者を2人/日増加確保